

日本の伝統芸能から オーストラリア先住民族の音楽まで 両国に世界の音楽が集結！「ほくさい音楽博」開催のお知らせ

特定非営利活動法人トッピングイーストと、東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）は、2019（平成31）年2月10日（日）に、参加型世界音楽博覧会「ほくさい音楽博」を開催いたします。

▼「ほくさい音楽博」とは

葛飾北斎生誕の地でもある墨田区周辺地域の子供たちに、「出会ったことのない楽器や音楽に触れ、小さな好奇心を大きく花開かせてほしい！」という思いから、2014年に始まった子供が主役の音楽博覧会。当日は、練習を重ねた小学生による世界の楽器・音楽の発表会をメインに、15以上の音楽やものづくり体験会、ライブなど、子供だけでなく大人も楽しめるプログラムが用意されています。



パパ友ママ友の小さなネットワークから始まった本イベントも、今では来場者数約2,000人、練習～発表会を体験した小学生は延べ約300人となりました。当初は保護者が申し込むケースがほとんどでしたが、最近は子供が自ら「やってみたい！」と希望して応募してくるケースも増えるほど、地域に浸透しつつあるイベントに成長しています。

▼今回の見どころ

5回目の開催となる今年度は、例年に比べプログラムを拡充しました。

●発表会プログラムに「和楽器」が新登場！

昨年度も行った、練習を重ねた小学生によるカリブ海で生まれたドラム缶の楽器「スティールパン」、日本の伝統芸能「義太夫」、インドネシアの民族音楽「ガムラン」の発表に加え、新たに日本の伝統音楽「和楽器」が登場します。

●サカキマンゴー（親指ピアノ）、GOMA（ディジュリドゥ）、柳原陽一郎（和楽器ライブゲスト/元たま）ほか、豪華アーティストが参加

今年度「ほくさい音楽博」は、墨田区による[「すみだの夢応援助成事業」](#)の対象事業に選ばれており、ふるさと納税の仕組みを利用した[クラウドファンディング](#)を実施しました。結果多くのご支援をいただき、多彩なアーティストの参加が実現しました！

▼開催概要

イベント名	ほくさい音楽博
日時	2019年（平成31年）2月10日（日） 12:30開場 13:00開演 （11:00～一部体験会 整理券配布開始、17:00～閉会式）
料金	入場無料（一部体験会・飲食は有料）
対象	未就学時～大人、どなたでも参加可
会場	回向院 [東京都墨田区両国2-8-10] 劇場 東京・両国 シアターXカイ [東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア1F] （JR総武線両国駅西口より徒歩3分、都営地下鉄大江戸線両国駅より徒歩10分） -両国- 江戸NOREN [東京都墨田区横網1-30-20] （JR総武線 両国駅西口隣接、都営地下鉄大江戸線 両国駅下車 徒歩7分）
講師・出演者	原田芳宏（スティールパン）、竹本京之助（義太夫） 鶴澤弥々（義太夫三味線）、望月太左衛（和楽器） 鳥居誠（ガムラン／楽器）、荒野真司（ガムラン／舞踊） ガズ（ガズレレ）、アダチ正芳（サンバ） サカキマンゴー（親指ピアノ）、GOMA（ディジュリドゥ） 柳原陽一郎（和楽器ライブゲスト/元たま）、竹内公啓（家紋作り体験） 紙工房 堂地堂（ノート作り体験）
主催	東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 特定非営利活動法人トッピングイースト
協賛	東京東信用金庫、回向院、劇場 東京・両国 シアターXカイ J:COMすみだ・台東、-両国- 江戸NOREN、YKK株式会社 YKK AP株式会社、両国ビューホテル、国技館通り商店会
後援	墨田区教育委員会、一般社団法人 墨田区観光協会
協力	株式会社ルネサンス、京成バス株式会社
WEBサイト	http://www.toppingeast.com/event/1178/
チラシ	http://bit.ly/2FbGNII
広報用画像	http://bit.ly/2Qq5W3B

※雨天決行。荒天中止。当日イベント開催の有無につきましてはWEBサイトで告知します。
※内容は変更になる場合がございます。
※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。

▼講師・出演者プロフィール



原田芳宏（スティールパン）

1994年にスティールパン奏者として「PAN CAKE」を結成しメジャーデビュー。
04年、Panorama Steel Orchestraファーストアルバムを発表。15年には第1回スティールパン世界大会に参加し、世界第9位入賞の栄冠を勝ち取る。



竹本京之助（義太夫）

舞台女優活動中に竹本駒之助の義太夫に出会い、平成16年入門、平成18年初舞台、国立演芸場「女流義太夫演奏会」「本朝廿四孝」十種香の段、郎党にて初舞台。平成27年3月義太夫協会新人奨励賞受賞。



鶴澤弥々（義太夫三味線）

竹本弥之太夫に師事。平成18年国立演芸場にて、仮名手本忠臣蔵八段目道行旅路の嫁入りで初舞台。以後、素浄瑠璃（太夫と三味線のみ）にて出演。平成28年3月義太夫協会新人奨励賞受賞。



望月太左衛門（和楽器）

250年前より続く歌舞伎囃子望月流宗家家元である父・十代目望月太左衛門に幼少より師事。
重要無形文化財「長唄」総合認定保持者。
伝統芸能教場・鼓樂庵主宰。国内外にて伝統音楽の普及・啓蒙活動、邦楽教育にも力を注いでいる。



鳥居誠（ガムラン/楽器）

1958年山田流鳥居家の次男として東京で生まれる。東京芸術大学邦楽科に琴古流尺八で入学。同大学院卒。在学中にバリ島にてガムランと出会い、日本初のバリガムラン演奏グループの発足に貢献。現在はガムラン演奏・企画&フリーのプロデューサーとして活動。



荒野真司（ガムラン/舞踊）

1967 東京生まれ
1983~ 鉄アレイ
1985~87 Wien応用美術大学
1987~ MUAY THAI
1987~89 GHOUL
1989~92 維新派
1989~ バリ舞踊修行
1990~ 野口三千三に師事
1991~ 深川 古石場吉西睦会
1992~ 深川バロン倶楽部結成
1992~ 縁台美術
2001~ 深川美術



ガズ（ガズレレ）

音楽初心者向けの簡単ウクレレレッスン「ガズレレ」で話題のウクレレユーチューバー。病気をきっかけに小さくて簡単なウクレレの魅力に気づき「音楽は聴くものでなくやる時代だ！」というメッセージをウクレレに託して、全国各地でウクレレイベントを開催中。



アダチ正芳（サンバ）

東京・浅草のサンバチーム『G.R.E.S.仲見世バルバロス』（浅草サンバカーニバル・2018優勝チーム）をはじめ、いわきベレーザ（福島県いわき市）、その他丸の内朝大学などでの講師、指導など各地でサンバ教室を開催し活躍中。



サカキマンゴ（親指ピアノ）

アフリカの楽器・親指ピアノの演奏家。大学ではスワヒリ語を専攻、アフリカ各地で音楽修行を積みながら、伝統楽器を独自に電氣化して無二の世界を切り開く。ここ数年は南九州の板三味線・ゴッタンや地元・鹿児島弁での曲作りにも取り組む。



GOMA（ディジュリドウ）

オーストラリア先住民族の伝統楽器ディジュリドウの奏者として'98年より活動を開始。同年現地のコンペティションにて準優勝（非原住民として初受賞）し、勢いに乗っていた'09年追突事故で「外傷性脳損傷」を受け活動を休止。事故2日後から突然点描画を始め。2011年音楽活動を再開。高次脳機能障害を抱えながら活動を続ける。



柳原陽一郎（和楽器ライブゲスト/元たま）

1990年にバンド“たま”のメンバーとして『さよなら人類/らんちう』でデビュー。1995年にソロ活動を開始。心の機微をファンタジーや言葉遊びに託したユニークな歌詞や、おおらかでありながら哀愁漂うボーカルも魅力。

2018年12月にアルバム『小唄三味』を発表。

▼特定非営利活動法人 トッピングイーストとは

響きの美しい鮮やかな音粒を東東京エリアに振りまきながら、音楽がまちなかで出来ることを拡張していきます。墨田区周辺地域の子供たちに世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、練習を重ねて発表会を行う「ほくさい音楽博」。古い電化製品を使って新たな楽器を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていく“和田永「エレクトロニクス・ファンタスティコス！」”。音楽家が、丁寧なフィールドワークと人との関わり合いを礎に、公共の場を舞台に、これまでにない新たな音楽のアウトプットを目指すリサーチ型のプロジェクト「BLOOMING EAST」。以上3つのプログラムを核に活動しています。

▼本リリースに関するお問い合わせ

特定非営利活動法人トッピングイースト ほくさい音楽博担当：茂木・村瀬・清宮

MAIL : info@toppingeast.com TEL : 080-9671-7507（11:00-18:00 不定休）

住所 : 130-0004 東京都墨田区本所2-10-7 1階

WEB : www.toppingeast.com